

# 「知多木綿発祥の地・岡田 “つむぐ、織姫のまちづくり構想” 形成事業」 (概要版)

## 1. 事業概要

### 1.1 事業目的

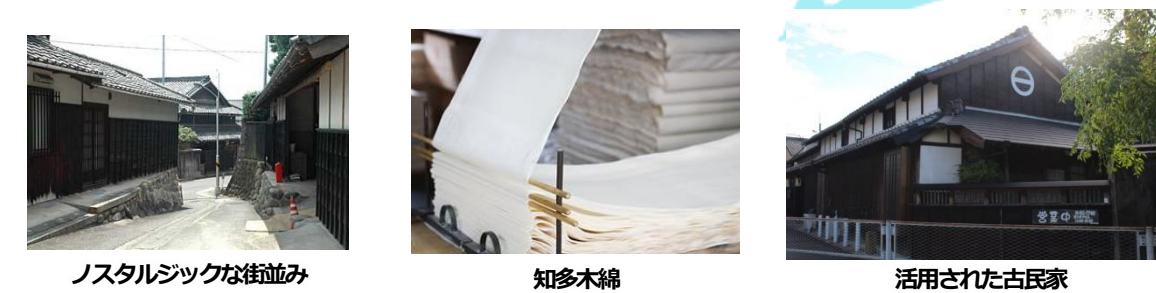
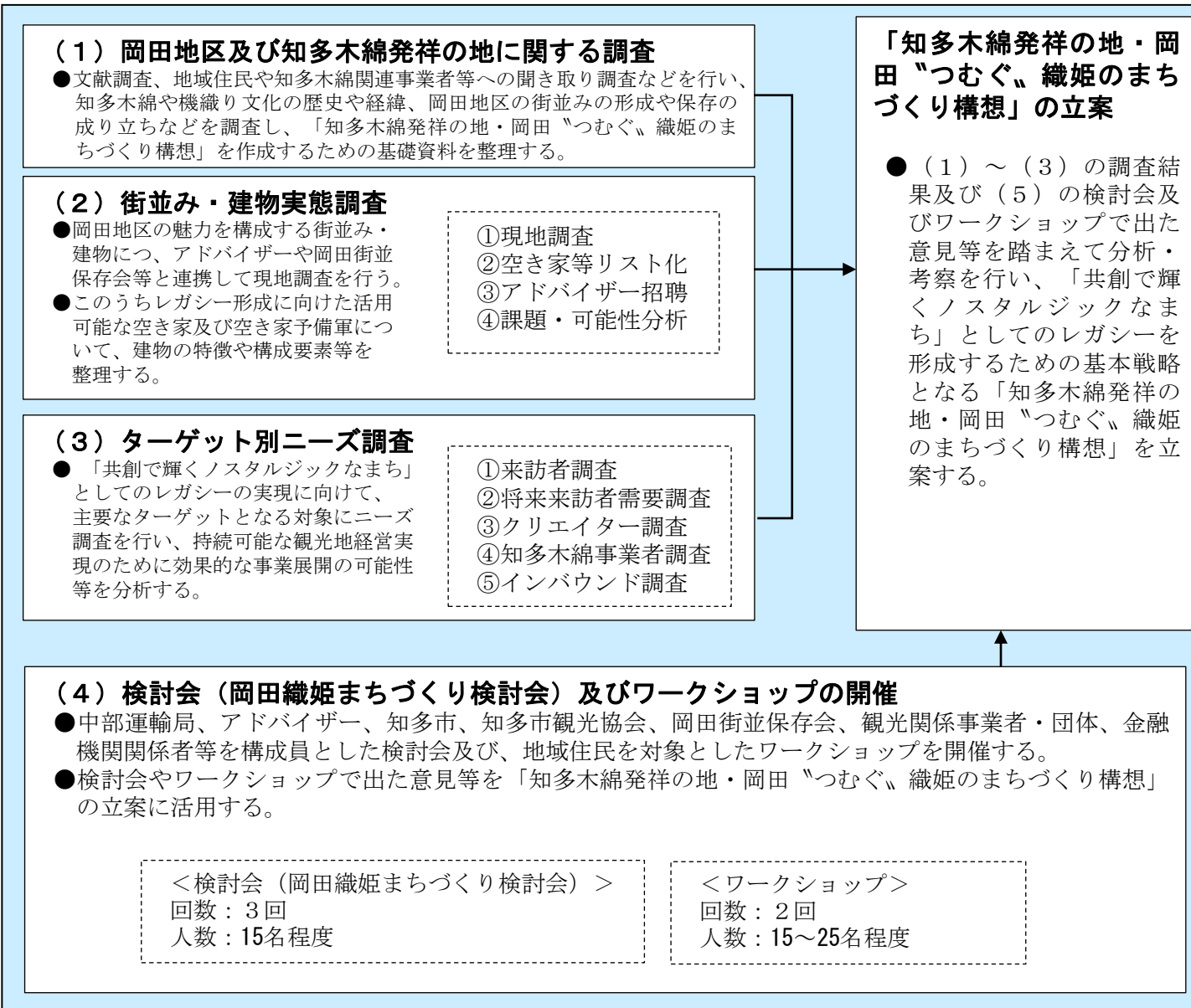
愛知県知多市岡田地区は、江戸時代から昭和30年代まで知多木綿の生産地集積地として栄えた街であり、最盛期には木綿工場や商店、劇場などが軒を連ね、約3,000人もの女工が働くほどの賑わいであった。現在も岡田地区には、江戸末期から昭和初期に建築された建物が多く残っており、国の登録有形文化財を中心とした街並みが形成されている。これらの街並みは地域住民の努力によって保存されてきたが、近年では少子高齢化などにより保存に携わる担い手が不足し、古民家の取り壊しが行われるなど、街並みの持続的な保全に対する課題も顕在化している。

岡田地区の古き良き日本の魅力を残すノスタルジックな街並みや知多木綿は、日本人にとっては郷愁を感じ、外国人にとっても日本の歴史文化に触れられる貴重な地域資源である。本調査では、地域住民との連携による街並みの保全・活用や観光交流促進、知多木綿を活かした賑わいの創出等を、新たなレガシー「共創で輝くノスタルジックなまち」と定義し、レガシー形成に向けた実現可能性調査(FS調査)や、レガシー形成のための基本戦略となる「知多木綿発祥の地・岡田 “つむぐ、織姫のまちづくり構想” を作成することを目的とする。

■知多市の位置

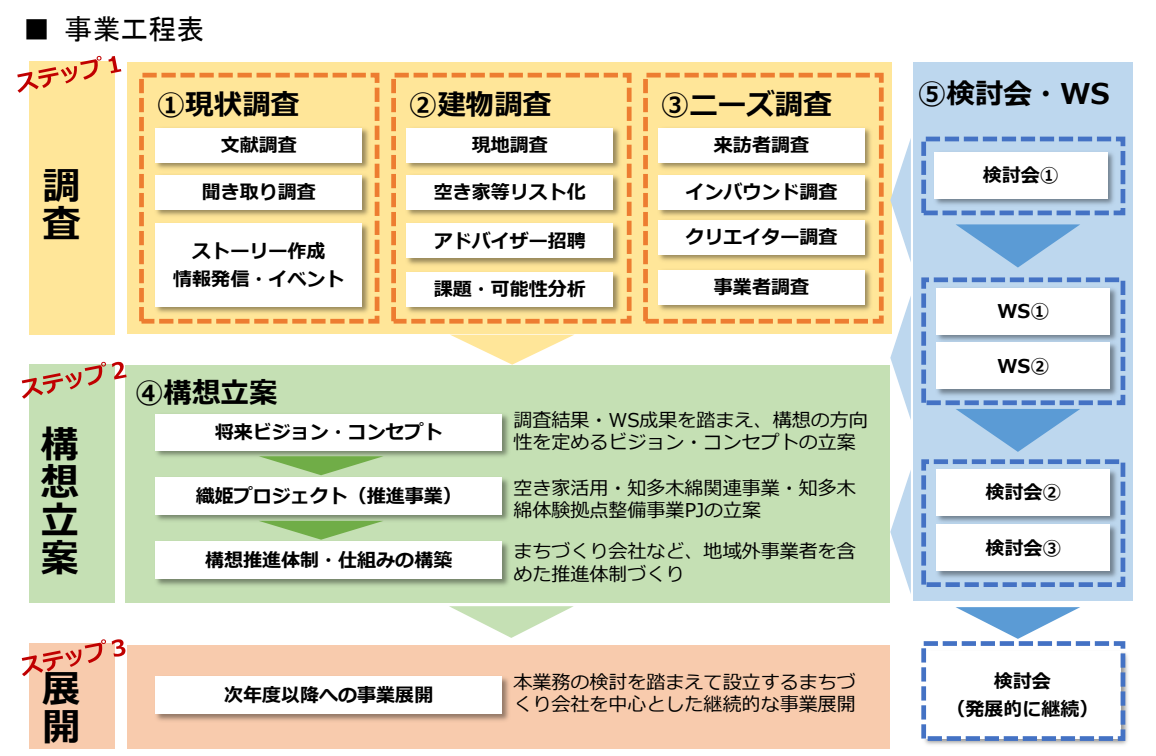


### 1.2 業務内容



### 1.3 事業工程

本事業の工程を以下に示す。



## 2. 実施内容

### (1) 岡田地区及び知多木綿発祥の地に関する調査

文献調査、地域住民や知多木綿関連事業者等への聞き取り調査などを行い、知多木綿や機織り文化の歴史や経緯、岡田地区の街並みの形成や保存の成り立ちなどを調査し、「知多木綿発祥の地・岡田 “つむぐ、織姫のまちづくり構想” を作成するための基礎資料を整理し、「知多木綿発祥の地・岡田ストーリー」にまとめた。

⇒知多木綿で岡田地区は栄え、地区内には劇場（喜楽座）まであった。そこには、生き生きと青春を謳歌する女工の暮らしがあった。

### (2) 街並み・建物実態調査

岡田地区の魅力構成する街並み・建物について、現地調査を行った。このうちレガシー形成に向け活用可能な空家及び空家予備軍について、岡田街並保存会等と連携して実態調査を行うとともに、空家等の活用に向けて歴史的価値の高い建物居住者への意向調査、空家のリスト化を行った。建物の特徴や構成要素等について整理を行った。また、街並み景観や空家等の活用に関するアドバイザーによる現地調査を実施し、調査結果及びアドバイザーの意見を踏まえ、今後の活用に向けた課題の整理や可能性の検討を行った。

⇒空家等調査の結果から、3年間で4%の空家が除却されており、さらに空家が倍増している  
⇒相続に伴う空家化や建物の除却が進むことが喫緊の課題となっている。

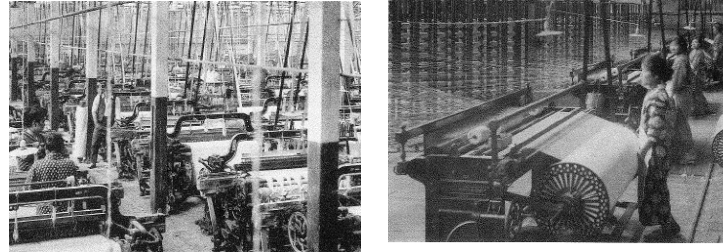
### (3) ターゲット別ニーズ調査

主要なターゲットとなる対象にニーズ調査を行い、事業展開の可能性等の分析を行った。まず、現在岡田地区を来訪する来街者調査を行うとともに、将来来街者として見込まれる愛知県居住者へのインターネット調査、外国人のニーズを把握するインバウンド調査を実施した。次いで、前項で確認された空家の活用や、賑わいづくりも期待できるクリエイター・デザイナー調査、事業者調査を実施した。

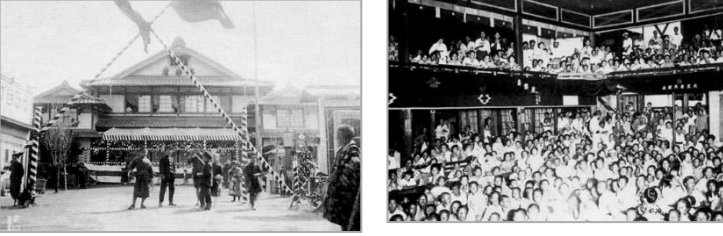
⇒来街者及び潜在的来街者のニーズから、空家を活用した飲食店の充実に加え、回遊して一日楽しめる取組み、交通アクセスの改善を図っていく必要がある。

⇒条件付きながら空家の活用希望が確認された。実際の活用にあたっては、個別事業者等の物件条件（立地、広さ、費用）などを仲介組織によりマッチングさせる仕組みを検討していく必要がある。

### ■工場の様子（大正時代）



### ■往時のにぎわい（地区内にあった劇場）

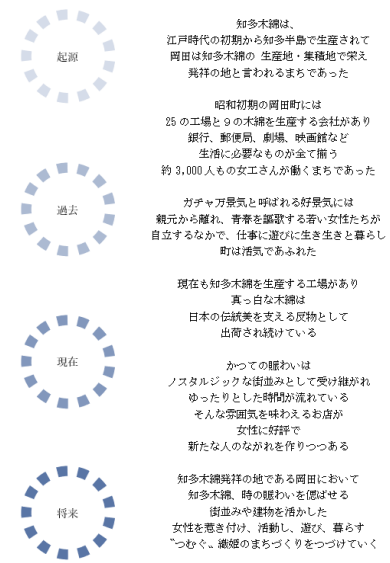


### ■空家の状況

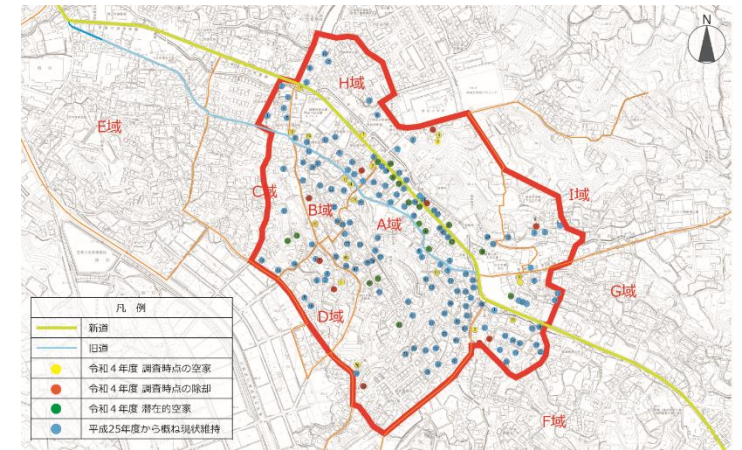
	棟		件※	
	棟数	割合	件数	割合
<b>対象建物</b>	<b>283</b>	<b>100%</b>	<b>175</b>	<b>100%</b>
除却	10	4%	8	5%
空家	31	11%	20	11%
空家予備軍	29	10%	19	11%

※敷地の件数

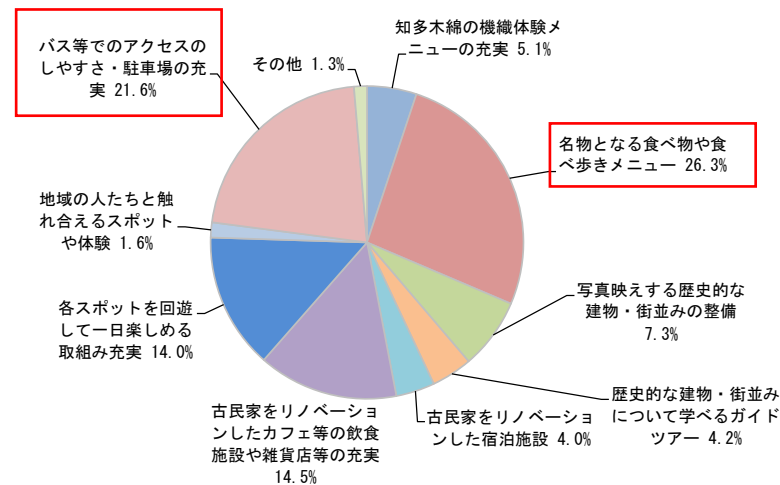
### ■岡田ストーリー



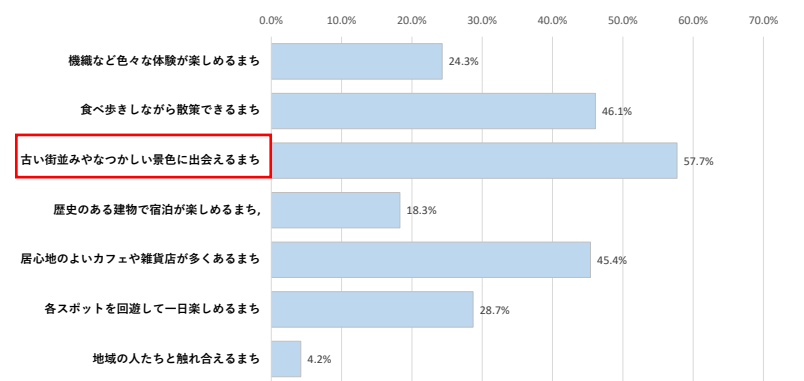
### ■空家の分布状況



### ■岡田地区の魅力向上に必要なもの（将来来街者）



### ■期待するまちのイメージ（将来来街者）



2. 実施内容

(4) 検討会及びワークショップの開催

中部運輸局、アドバイザー、知多市、(一社)知多市観光協会、岡田街並保存会、観光関係事業者・団体、金融機関関係者等を構成員とした検討会及び、地域住民を対象としたワークショップを開催した。

1) 検討会

	議題	意見交換内容
第一回	(1) 本事業の目的・内容の共有 (2) 各種調査の方法・内容について確認・検討 (3) 岡田地区のまちづくりについて意見交換	これまでのまちづくりの取組について
第二回	(1) 各種調査の進捗状況報告 (2) まちづくりワークショップの報告 (3) まちづくり構想(骨子検討案)について	まちづくり基本構想(骨子検討案)について
第三回	(1) 各種調査の進捗状況報告 (2) まちづくり構想(案)について	まちづくり構想(案)について

第1回検討会の様子



第2回検討会の様子



第3回検討会の様子



2) ワークショップ

	意見交換内容																
第一回	ワーク1：地域の強み・弱み ワーク2：20年後にどのような地域になりたいか	<p>ワーク1：地域の強み・弱み</p> <p>① 街並み良い 付箋紙に地域の強み・弱みを一人ひとり書き出します。 ピンク：強み ブルー：弱み 人材が少ない</p> <p>② まちなみ良い 街並み良い 意見を班内で共有し、強み・弱みごとにグルーピングします。最も多い・共感を集めた意見に●赤シールを付けます。</p> <p>ワーク2：20年後にどのような地域になりたいか</p> <p>① 20年後の地域イメージ 地域で景色を守る 子供たちに良い地域 ワーク1での多い・共感を集めた意見をもとに、付箋紙に20年後にどのような地域になりたいかを一人ひとり書き出します。</p> <p>② 20年後の地域イメージ 地域で景色を守る 子供たちに良い地域 意見を班内で共有し、最も多い・共感を集めた意見を班の「20年後のコンセプト」として1つ選びます。</p>															
	<p>&lt;20年後のコンセプト&gt;</p> <p>1班 自然と伝統を残した若者が集うまち</p> <p>2班 古民家で街をデザインする(住民だけでなく地域愛のある外部の方も参画できる)</p> <p>3班 岡田ディズニーランド計画(駐車場を整備し、岡田地区との間を商店で繋げる)</p> <p>4班 街並みを守りつつ、若者を中心に盛り上げる</p>																
第二回	ワーク1：取組のアイデア・提案 ワーク2：取組みやすい・達成したいプロジェクト	<p>ワーク1：取組のアイデア・提案</p> <p>① 4班に分かれ、「20年後のコンセプト」を基に設定した4つのテーマごとに、今後5年間で実施するべき取組を記載します。</p> <p>② 意見を班内で共有し、似た意見をグルーピングします。その後、テーマごとにまとめ、興味があるテーマへ席替えを行います。</p> <p>ワーク2：取組みやすい・達成したいプロジェクト</p> <p>① ワーク1で提案した取組案についてグループ内で確認・共有を行い、今後5年間で実施するべきプロジェクトについて、地図を用いながら考えます。</p> <p>② 取組やプロジェクトについて、最も取組みやすいものに●赤シール、最も達成したいものに●青シールを付けます。</p>															
	<p>&lt;テーマ別プロジェクトの内容&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>最も取組みやすいプロジェクト</th> <th>最も達成したいプロジェクト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テーマ①：空き家等活用</td> <td>女子寮・雅休邸・土井家・旭屋の活用</td> <td>弘法窟の復元</td> </tr> <tr> <td>テーマ②：知多木綿関連</td> <td>SNS(インスタグラム)を用いた情報発信</td> <td>「木綿と言えは岡田」の実現</td> </tr> <tr> <td>テーマ③：街並み保全</td> <td>JAや福祉会館の幅広い利用</td> <td>空き家活用をしやすくする制度設計</td> </tr> <tr> <td>テーマ④：回遊性向上</td> <td>小学生によるまちあるきと発信(写真撮り)</td> <td>「ここに来ないと体験できない」の実現</td> </tr> </tbody> </table>			最も取組みやすいプロジェクト	最も達成したいプロジェクト	テーマ①：空き家等活用	女子寮・雅休邸・土井家・旭屋の活用	弘法窟の復元	テーマ②：知多木綿関連	SNS(インスタグラム)を用いた情報発信	「木綿と言えは岡田」の実現	テーマ③：街並み保全	JAや福祉会館の幅広い利用	空き家活用をしやすくする制度設計	テーマ④：回遊性向上	小学生によるまちあるきと発信(写真撮り)	「ここに来ないと体験できない」の実現
	最も取組みやすいプロジェクト	最も達成したいプロジェクト															
テーマ①：空き家等活用	女子寮・雅休邸・土井家・旭屋の活用	弘法窟の復元															
テーマ②：知多木綿関連	SNS(インスタグラム)を用いた情報発信	「木綿と言えは岡田」の実現															
テーマ③：街並み保全	JAや福祉会館の幅広い利用	空き家活用をしやすくする制度設計															
テーマ④：回遊性向上	小学生によるまちあるきと発信(写真撮り)	「ここに来ないと体験できない」の実現															

第1回ワークショップの様子



第2回ワークショップの様子



第1回ワークショップニュース

第1回ワークショップニュース

当日の様子

各班の「20年後のコンセプト」紹介

当日の主な資料

ワークショップの流れ

ワーク1：地域の強み・弱み

ワーク2：20年後にどのような地域になりたいか

ワーク3：取組のアイデア・提案

ワーク4：取組みやすい・達成したいプロジェクト

第2回ワークショップのニュース

第2回ワークショップのニュース

当日の様子

各テーマの「取組みやすい・達成したいプロジェクト」紹介

当日の主な資料

ワークショップの流れ

ワーク1：地域の強み・弱み

ワーク2：20年後にどのような地域になりたいか

ワーク3：取組のアイデア・提案

ワーク4：取組みやすい・達成したいプロジェクト

3. まちづくり構想

(1) まちづくりビジョン

●地域住民などの想い「20年後の地域イメージ」

<歴史・街並み・建物>	<体験・機能>	<人・地域>	<子ども・若者>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史のある古い街並み・建物、景観が残る</li> <li>○祭り、伝統、提灯が残る</li> <li>○古い建物の良さを生かした店・宿がある</li> <li>○文化遺産の保存・展示</li> <li>○空き地を活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ディープな体験ができる</li> <li>○新しい店・宿ができる、新名物ができる</li> <li>○半日、一日楽しめる</li> <li>○住民の移動を支える交通システム</li> <li>○大きな駐車場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住民が誇れる・自慢できる、郷土愛がある</li> <li>○コミュニケーションがある、住みやすい</li> <li>○知多半島 No1の名所になる、知名度があがる</li> <li>○岡田の良さに気づく人が増える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの声が聞こえる、子どもの学びになる</li> <li>○若者が多い</li> <li>○若者が盛り上げる・まちづくりに参加する</li> <li>○次世代が住み続けられる</li> </ul>

●地域住民などの想い「20年後の地域コンセプト」にかかるキーワード

歴史・伝統を大切にする / 古い街並み・建物を守る / 古民家、空き家・空き地を活かす / 若者が集う、若者が盛り上げる / 子どもが住み続けられる / 住民が誇れる・住みやすい

●来街者・潜在的来街者のニーズ「岡田地区に期待するイメージ」、「岡田地区の魅力向上に必要なこと」

古い街並みやなつかしい景色 / 古民家を活用した居心地の良いカフェや雑貨店 / 名物となる食べ物、食べ歩き・散策 / 一日楽しめる回遊性・滞在性 / アクセスしやすさ・駐車場

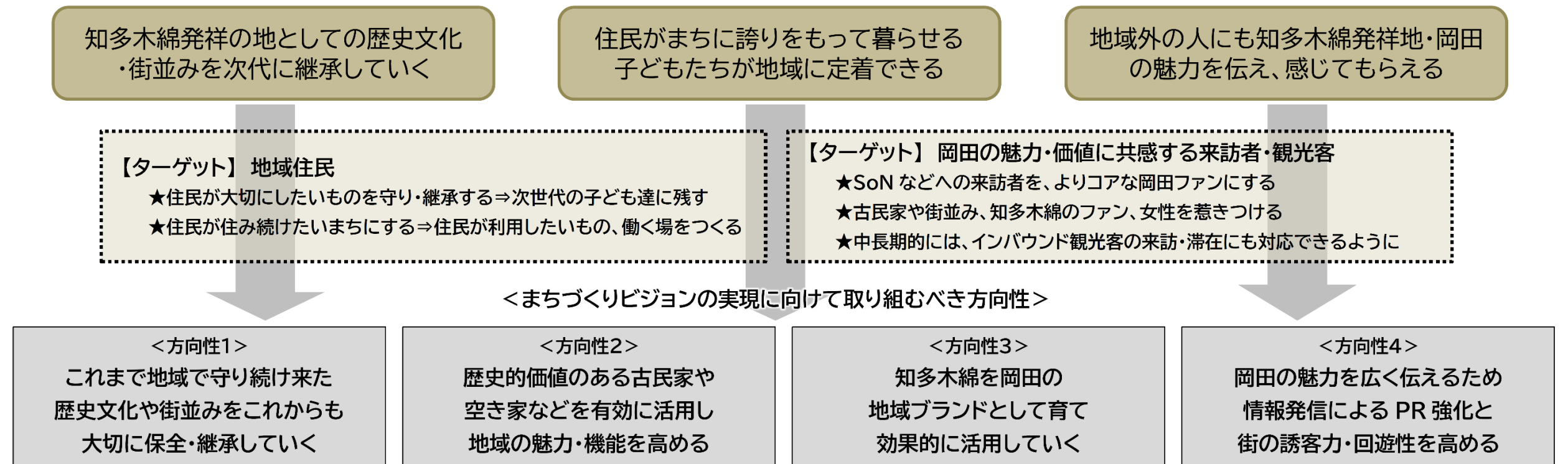
●インバウンドのニーズ

欧米やアジアの個人旅行者の誘客可能性 / 宿泊施設の充実や知多木綿の体験充実が重要

●クリエイター・事業者等のニーズ

古民家等を活用した知多木綿に関わる創作活動、多様な事業展開の可能性

●まちづくりビジョン



(2) 4つのプロジェクト

プロジェクト1 街並み・建物の保全	<織姫プロジェクトとしての展開方向>	
<p>&lt;地域からの提案&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○メインストリートの設定</li> <li>○古い建物のクリーンアップ、子ども達を巻き込んだイベント化</li> <li>○知多木綿のれんの作成とまちなかへの取り付け</li> <li>○新築・改築時に基準を設定</li> <li>○建物維持の方法など建築家のレクチャー開催</li> </ul>	<p>展開1 保全すべき街並みや建物の明確化</p> <p>展開2 街並み保全のゆるやかなルールづくりと共有化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●街並み保全重点エリア(メインストリートなど)の設定</li> <li>●重点的に保全すべき建物の設定(文化財登録だけでない地域独自の選定)</li> <li>●保全への理解を深める啓発イベント(建物お掃除ワークショップ、のれん取り付けなど)</li> <li>●新築・改築時の参考基準、維持保全方法の参考例などをまとめたマニュアル作成</li> <li>●街並み保全の重要性を地域全体で共有する勉強会などの開催、人材育成講座の開催など</li> </ul>
プロジェクト2 古民家・空き家の有効活用	<織姫プロジェクトとしての展開方向>	
<p>&lt;地域からの提案&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○雅休邸の活用(ビジターセンター)</li> <li>○旧女子寮の活用(アーティストインレジデンス、工房、女性用住居、宿泊施設)</li> <li>○JA選果場、福祉会館の活用(主目的だけでなく幅広い利用、観光案内所、カフェ、街並み散策の拠点)</li> <li>○土井家の岡田の文化財の展示・保存の場としての利用</li> <li>○宿泊施設にリノベーション、弘法宿(4か所)の復元</li> <li>○空き家活用を行いやすくする制度設計・税控除やインセンティブの活用</li> </ul>	<p>展開3 拠点となる施設整備</p> <p>展開4 飲食・物販・宿泊機能等の強化</p> <p>展開5 空き家・古民家活用促進のための仕組み・制度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雅休邸、旧女子寮の活用検討(観光交流拠点・ビジターセンター、知多木綿クリエイター拠点、宿泊機能の拠点などとしての利用)</li> <li>●JA選果場、福祉会館、中央公園など既存施設の有効活用策の検討</li> <li>●空き家・古民家等を活用した飲食・物販・宿泊機能等の導入に向けた事業化の促進</li> <li>●旧弘法宿などを中心とした宿泊機能の導入に向けた事業化の促進</li> <li>●空き家・古民家の情報の収集・集約体制・利活用にあたっての相談体制の構築</li> <li>●空き家・古民家の利活用にあたっての助成制度など</li> </ul>
プロジェクト3 知多木綿による地域コンテンツの充実	<織姫プロジェクトとしての展開方向>	
<p>&lt;地域からの提案&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○活動の連携(つものき×木綿蔵×478)→新たな商品の開発</li> <li>○他地域との連携(有松など)と歴史探訪→体験の充実</li> <li>○機織り機レンタルサービス、照明器具「木綿のあかり」の開発</li> <li>○昔の生活を体験できる、ツアー実施</li> <li>○若者が関われるようなクリエイティビティのある取組</li> </ul>	<p>展開6 知多木綿発祥の地・岡田にしかない商品づくり</p> <p>展開7 知多木綿発祥の地・岡田でしかできない体験・学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●連携による商品開発(つものき×木綿蔵×478+飲食店、知多木綿商品・飲食メニューなど)</li> <li>●知多木綿の技術・道具などを活用した商品づくり(照明器具「木綿のあかり」など)</li> <li>●機織り体験・学習機会の充実(木綿蔵での体験、つものきでの教室+プラスα)</li> <li>●機織り機レンタルサービス・機織りシェアワーキング、本格的な機織り学習機会など</li> <li>●知多木綿を次世代に継承する啓発イベント(ワークショップ CHITAMOMENT など)</li> <li>●他地域と連携した体験メニュー・観光ルートの造成(有松絞など)</li> </ul>
プロジェクト4 回遊性の向上と情報発信	<織姫プロジェクトとしての展開方向>	
<p>&lt;地域からの提案&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歩道橋をまちの入り口としてシンボル化、坂道を活かした散歩道</li> <li>○移動手段(セグウェイ、高齢者用カート、馬車、トウクトウ的な乗り物)</li> <li>○食べ歩きできるまちづくり</li> <li>○知多木綿の着物を着て散策</li> <li>○桜をPRするイベント、紅葉を楽しめる観光スポット、織姫まつり(練り歩き)</li> <li>○ブランド力を意識した情報発信、知多木綿を中心としたPR戦略</li> <li>○着物で歩ける・写真映える街としての情報発信</li> </ul>	<p>展開8 岡田に来たくなる、岡田の街を歩きたくなる仕掛け</p> <p>展開9 情報発信・PR 戦略</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●散策路の設定(更新):駐車場配置、街の入り口・メインストリート・散歩道の明確化</li> <li>●岡田の魅力をPRするイベントの企画・開催(季節ごとの魅力、知多木綿の魅力など)</li> <li>●着物を着て散策、食べ歩きしながら散策を楽しめるような取組</li> <li>●地区内の移動を支える・楽しみながら移動できる手段の導入(レンタサイクルほか移動手段)</li> <li>●駐車場の充実</li> <li>●SNSの活用、子ども・若者の力を活かした情報発信</li> <li>●「木綿と言えば岡田」を実現するPR戦略(着物を着て散策したい街、写真映える街) 岡田のストーリーを発信、岡田にしかない商品・岡田でしかできない体験をPR</li> </ul>

4. 事業成果

1) 調査結果からの主な課題 (展開)

<岡田地区及び知多木綿発祥の地に関する調査>

岡田地区及び知多木綿発祥の地に関する調査として、知多木綿発祥の地・岡田ストーリーの作成を行った。今後はこのストーリーをまちづくり活動でも活用し、まちづくりに関わる人達の拠り所として使われていくことが期待される。

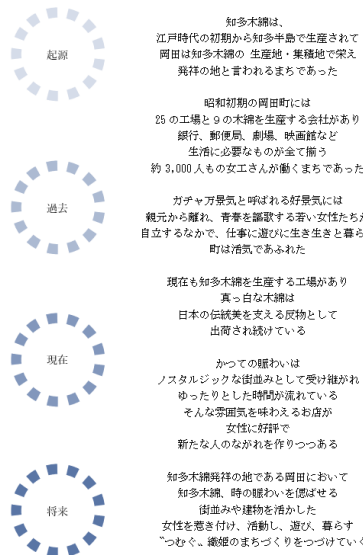
<街並み・建物実態調査>

街並み・建物実態調査においては、空家の現状が明らかとなり、令和元年度より対象地区においても空家が倍増している実態が明らかとなった。空家予備軍意向調査において、古民家を将来的に存続していくためには、地域関わった相談先を作っていくことの必要性が確認された。今後に向けて、新たな相談先の確保とともにアドバイザーからのアドバイスを踏まえ、人的な支援や保全するためのルールづくり、景観の魅力を再発見する仕掛けづくりを国の補助事業なども活用しながら実施していくことが望まれる。

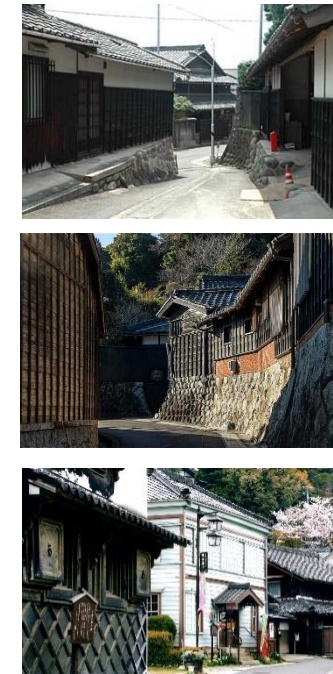
<ターゲット別ニーズ調査>

ターゲット別ニーズ調査では、来街者調査及び将来来街者調査を通じて、古民家を活用したカフェ等の店舗の存在が、来街者を誘引することができる確認された。また、歴史的街並み・建物に対する評価も高く、街並み・建物実態調査で確認された空家・空家予備軍を保全・活用していくことが、岡田の活性化には重要となっている。こうしたなか、クリエイター・デザイナー調査及び事業者調査において、条件つきながら空家の活用希望が確認された。実際の活用にあたっては、個別事業者等の物件条件 (立地、広さ、費用) などを仲介組織によりマッチングさせる仕組みを検討していく必要がある。

■岡田ストーリー



■岡田の古き良き景色



■岡田での古民家再生事例



2) まちづくり構想の実現化及びまちづくりの将来展望

<まちづくり構想の実現化に向けて>

今回作成したまちづくり構想は、キーマンとなる方々と十分な意見交換を行い、思いを共有しながら立案されたものであるが、具体的なプロジェクトについては、今後充実させていく必要があり、令和5年度の国の補助事業などを通じて内容のブラッシュアップを行い、併せて「(仮)岡田まちづくり会社」の設立に向けての動きを具体化し、試験的な運用を行っていくことが望まれる。

<まちづくりの将来展望について>

知多木綿の最盛期に活躍した女工さんたちが岡田に惹きつけられたように、時代を超えて現代の女性たちを惹きつける場としていくためには、ノスタルジックな街並みや古民家を活かした空間の提供等により、女性が活動し、遊び、暮らす“つむぐ、織姫のまちづくり”が求められる。同時に、新たなクリエイターの拠点として創作仲間が集まり、多様な交流活動・創作活動・経済活動を活発化させることで、知多木綿で栄えた往時のにぎわいを取り戻す展開へ繋げていくことが望まれる。こうした知多木綿を活かした新たな賑わい創出への取り組みやノスタルジックな街並みの保存・活用を地域一帯で段階的に進めていくことにより、知多木綿発祥の地・岡田の価値や魅力を、将来にわたって人々を惹きつけるレガシーとして発信し、国内外からの来街者を呼び込むことが重要である。

■推進体制のイメージ

